

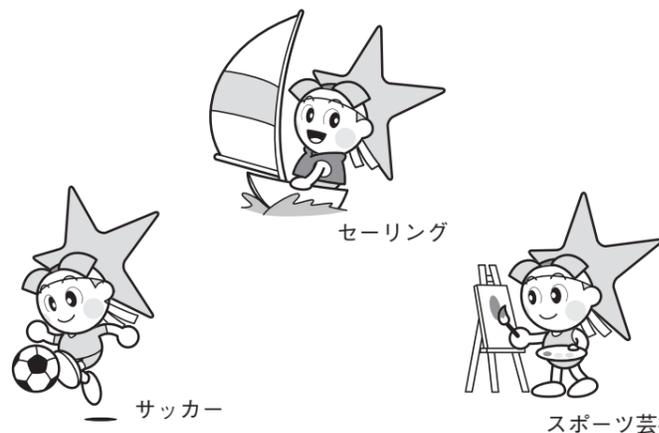
みんなので応援しよう 晴れの国おかやま国体

牛窓で開催されるセーリング競技で活躍が期待される石川あゆ美さん。
1979年石川県羽咋市生まれ。ベネッセコーポレーション勤務。昨年開催された埼玉国体で、成年女子シーホッパー級SRで初優勝。岡山勢の競技別皇后杯(女子総合優勝)獲得にも貢献。半月後に行われた全日本選手権でも優勝し、国体との2冠を飾った。石川・羽咋工高でヨットを始め、金沢大を経て岡山市内に就職。岡山国体会場は普段から練習を積んでいる牛窓沖。「2連覇を目指します」と力強く宣言。皆さんの応援が、石川さんのパワーとなるに違いありません。



石川 あゆ美さん(ベネッセコーポレーション)

ヨットを始めたきっかけは
珍しもの好きなんです。中学の時は新体操をやっていたんですが、近くの高校に新体操部がなかった。またま、進学した羽咋工高にヨット部があり、海は近いし「珍しいからやってみよう」という軽いノリで始めたんです。実は私、泳げないんですよ。ヨットは野球やサッカーと違って、小さいころからやっている人が少ないので、高校から始めた



せんが、対等に戦っています。また、勉強でも同じだと思ってしまうが、自分のできない部分、苦手な部分を練習で少しでも消していく。そして、レースで試され、結果が出る。そこが楽しいんです。2003年イタリア、2004年にオーストラリアで行われたレーザーラジアル級の世界選手権に出場したのですが、全くなかない。体格、技術のレベルが違う。自分では自信がある部分が通用しない。それが面白い。海外、国内問わず、レースを通して自分をシビアに見ることが出来る。だから練習して、ステップアップができるんです。



埼玉国体で優勝。表彰台で満面の笑顔

それに、レースをする海それぞれで環境や表情が違うので、自然を楽しむこともできます。

岡山国体に向けての抱負は

2002年の成年女子セーリングスピリッツ級で4位。2003年からシングルに専念し、静岡国体ではシーホッパー級SRで失格となるレースもあり15位。ルールの改正があったのですが、そう厳しくないという油断があったんですね。その時の悔しさをバネに、技術面はもとよりメンタル面も強化しました。それで、昨年は埼玉国体と全日本選手権でシーホッパー級SRの2冠を達成することができました。岡山国体の会場は普段から練習を積んでいる牛窓沖。もちろん優勝を狙います。私は高校時代にオリンピック選

瀬戸内市の方に期待することは

牛窓は、競技海面が陸から近いし、海が優しいですから、ぜひ競技を見に来てほしい。昨年の埼玉国体は民泊でしたので、世話してくださった家族の方が応援にも来

てくれました。特に、知らない土地で「頑張つて」と声をかけてもらったことが1番うれしかったです。また、精神的にもすごく助かりました。国体は、全国に瀬戸内市の名をアピールする絶好の機会でもあり、恵まれた自然や文化など良さを知っていただくためにも、ぜひ会場に応援に来て、選手と交流し、お互い思い出をいつばいつくつてもらいたいですね。

■好きな食べ物は鍋、特にカキが大好き。ビデオを見て、大いに泣き、大いに笑ってストレス解消。競技のため高校時代に比べると7〜8kg体重をアップ。取材中は笑顔絶やさないすてきな女性でした。

岡山国体でも彼女のすてきな笑顔を表彰台で見るため、応援しましょう。「フレ、フレ、あゆ美」。



埼玉国体でのレース風景(シーホッパー級SR)



民泊でお世話になった埼玉のお父さん

- ①レーザーラジアル級
女子一人乗りの競技で、北京オリンピックから採用されます。
- ②セーリングスピリッツ級
成年女子の二人乗りの競技。
- ③シーホッパー級SR(スモールリグ)
国内で普及している一人乗りクルースの一つで、初心者ジュニア、女子などに普及しています。